

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	声の広報発行事業			
予算科目	3 款 1 項 15 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 福祉施策の向上と充実			
所管課情報	担当課:	福祉課	電話番号(内線):	538
記入者情報	所属長:	渡辺 悦子	担当責任者:	大森 秀泰
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	文字による情報入手が困難な障害者			
根拠法令等	障害者総合支援法第77条・伊予市声の広報等発行事業実施要綱			
事業の目的	文字による情報入手が困難な障害者のために、点訳、音訳、その他障害者にわかりやすい方法により、地方公共団体等の広報、障害者が地域生活をする上で必要度の高い情報などを定期的に障害者に提供し、社会参加を図る。			
事業の内容	声の広報(全504巻:「月42巻×12ヶ月」)の製作			
改善策の具体的な取り組み(当初)	福祉課、各地域事務所、各公民館、それぞれの市の施設の窓口で「声の広報」テープについて紹介している。			
改善策の具体的な取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	100	100	25	100
	人件費	162	159	79	159
	合計	0	259	104	259
人件費内訳	人工数	0.02	0.02	0.01	0.02
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	162	159	79	159
財源内訳	国庫支出金	30	40	0	32
	県支出金	15	20	0	16
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	217	199	104	211

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
声の広報配布箇所数	箇所	18	18	18	18

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	100	100	100	100	100	500

成果指標				
成果指標	声の広報配布箇所数の増加			
指標設定の考え方	配布箇所を増やすことにより、聴覚障害者等が市政の状況に対する理解を深める機会を増やすことにつながるため。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目標	18	18	18	18
実績	18	18	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	福祉課窓口ばかりでなく、配布箇所と連携して、対象者に「声の広報」の存在を知ってもらい、利用回数を上げる必要がある、			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	視覚障害者へ行政からのお知らせとして伊予市「広報」音読テープを配布しているが、対象者の拡大よりも行政の視覚障害者に対する合理的配慮としての施策で継続する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	